

K-1デッキ文教タイプの利用拡大

同社新たに埼玉事務所開設

ケーワンシステム

ケーワンシステム（札幌市、原田慶一社長）は、北海道を中心に二重床の供給と施工を行っている。近年は自社で開発したオリジナルの高性能デッキシステム「K-1デッキ文教タイプ」の利用が拡大している。

また、車両乗り入れを可能にした「文教Plavタイプ」ストロング仕様もあり、緊急時対応も考慮したデッキ構成ができることで、介護、医療施設でも採用されるようになっていた。

原田社長は「K-1デッキ文教タイプの知



高性能デッキシステム「K-1デッキ文教タイプ」は、振り入れ試験なども含め、高性能を証明している。

文教タイプはその性能により、文教施設のみならず商業施設でも利用されるようになってきた。全国的に採用を拡大したい」と語る。

K-1デッキは、耐震性能も明らかに向上している。同社は、2020年に北海道立総合研究機構建築研究本部でK-1デッキ耐震試験（人工木材デッキ材+K-1デッキ）を行い、予定された地震波形（各種耐震試験規格）の加振すべての試験で試験値をクリア。

K-1デッキの問い合わせは、同社（電話011・631・6111）まで。

名度が上がらな、各デッキメーカーとも試験も済ませており、ほとんどのデッキ材と組み合わせ利用できる。K-1デッキ

用を拡大したい」と語る。

同社は22年10月に新たにフローリング事業中心の埼玉事務所（埼玉県新座市、西田浩社長）を開設しており、事業幅も拡大している。